

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-2-3		事業名	福祉のまちづくり環境整備事業		
担当	保健福祉局保健福祉部高齢福祉課 赤坂 211-2976					
全体計画						
事業内容	誰もが安心して快適に暮らせるまちを目指した公共施設整備として、平成19年度から22年度にかけて地下鉄駅にエレベーターや車いす使用者用トイレを設置する。			<年度別の事業内容>		
	新設 4駅(18年度末43駅/全49駅中 22年度末47駅/全49駅中) 片側ホームのみの設置駅は整備駅として計上せず。			平成19年度(竣工) 南郷7丁目駅、バスセンター前駅 中の島駅(麻生方面) (工事) 北18条駅、北12条駅 平成20年度(竣工) 北18条駅、北12条駅		
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)		
	エレベーター、車いす使用者用トイレを設置 ・南郷7丁目駅 233,160(市債209,000一般 24,160) ・北18条駅 145,014(市債127,000一般 18,014) ・北12条駅 17,000(市債 16,000一般 1,000) ・バスセンター前駅 238,582(市債213,000一般 25,582) ・中の島駅(麻生方面) 162,717(市債146,000一般 16,717) 計 796,473(市債711,000一般 85,473)			エレベーター、車いす使用者用トイレを設置 ・北18条駅 101,000(市債 87,000 一般 14,000) ・北12条駅 294,000(市債 264,000 一般 30,000) 計 395,000(市債 351,000 一般 44,000)		
達成目標の状況						
項目	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
地下鉄駅へのエレベーター等設置数(累計)	43駅	45駅	47駅	47駅	47駅	47駅
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
市民との連携、市民参加 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり						

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		3-2-3		事業名	福祉のまちづくり環境整備事業		
評価(成果)				課題			
地下鉄エレベーター等については、18年度末において当初の新まちづくり計画の41駅を2駅上回る43駅に設置し、22年度末においては、4駅新設する。				地下鉄駅エレベーター及び車いす使用者用トイレの未設置駅の整備を進めるためには、用地の取得が課題となる。			
今後の事業の予定・方向							
誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりを進めるため、用地取得等の課題を解決し、地下鉄駅エレベーター及び車いす使用者用トイレの未設置駅の整備を進める。							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	1,195,000	503,000	0	0	1,698,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	
		市債	1,071,000	452,000	0	0	1,523,000
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	124,000	51,000	0	0	175,000		
予算	事業費	1,195,000	1,095,586	-	-	1,590,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	1,071,000	977,000			1,422,000
		その他	0	0			0
一般財源	124,000	118,586			168,000		
実績	事業費	796,473	-	-	-	796,473	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	711,000				711,000
		その他	0				0
一般財源	85,473				85,473		
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				111.4%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度] 実績の減について、土木工事で地下埋設物との防護対策及びエレベーターの躯体施設縮小化などによりコストの縮減が図れた。							
[20年度] 予算の増について、19年度事業の遅れにより、19年度予算の繰越を行った。							
予算の計には、翌年度への繰越分を含まない。							